

2008年度第3四半期 連結決算ハイライト（米国会計基準）

2008年度第3四半期の概要

（単位：億円 △損失、減少）

- ・当第3四半期の経営成績は、米国メキシコ湾におけるエントラダガス田の開発計画中止に伴う損失及び株式市況低迷に伴う上場株式の評価損を計上したこと等により、「当期純利益」は前年同期比303億円の減益となる236億円となった。
- ・「セグメント別の当期純利益」は、生活資材・化学品で横ばいであったものの、その他のセグメントにおいては、機械・金融・不動産・保険・物流が投資有価証券損益の悪化等により赤字となったのをはじめ、金属・エネルギーではエントラダガス田の開発計画中止に伴う損失計上があり、それぞれ減益となった。繊維、宇宙・情報・マルチメディア、食料においても減益。
- ・「売上総利益」は、自動車や建機、化学品等の市況が悪化したものの、金属資源価格の上昇及び伊藤忠エネクス㈱の連結子会社化等により前年同期比345億円増益の2,825億円、「営業利益」は同145億円増益の776億円となり、それぞれ四半期単独では過去最高益となった当年度第2四半期に次ぐ水準。

経営成績	2008年度 第3四半期	2007年度 第3四半期		前年同期比		主たる増減要因	
		2007年度 第3四半期	前年同期比	増減額	増減率(%)		
収益	10,332	7,211	+	3,120	+	43.3%	・収益 ：伊藤忠エネクス㈱の連結子会社化、金属資源価格の上昇及び食品流通関連における取扱増加に伴う増収等 ・売上総利益 ：（増減分野及び商品等） 繊維/減益：新規連結子会社の寄与あるも、子会社数社が連結除外となった影響及び繊維原料、織物、衣料品の市況低迷等 機械/減益：自動車、建機取引が不調 宇情マ/増益：国内情報産業関連事業の前年同期比好転、国内携帯電話販売事業拡大 金エネ/増益：金属資源価格上昇及び伊藤忠エネクス㈱子会社化の影響 生化/減益：北米住宅資材関連事業堅調維持するも、化学品市況の急落及び米国子会社売却による連結除外あり 食料/増益：食品流通関連における取扱増加 金不保物/増益：投資家向け賃貸用不動産の販売あり ・販売費及び一般管理費 ：伊藤忠エネクス㈱等新規連結子会社の影響、容容拡大等に伴う経費の増加及び退職給付費用の増加等 ・金融収支 ：金利収支+5（米ドル金利率低下等）、受取配当金+37（LNG関連+18、アゼルバイジャン関連+12） ・投資及び有価証券に係る損益 ：株式評価損△186、株式売却損益+交換益△72、事業整理損他+9 ・固定資産に係る損益 ：エントラダガス田開発計画中止に伴う損失処理（△266）等固定資産評価損△326等 ・その他の損益 ：エントラダガス田開発計画中止に伴う損失処理△105等 ・持分法による投資損益 ：日伯紙ハルブ資源開発㈱+21、IPC（USA）、Inc.+6、シエナビアオイルアンドガス㈱+5、㈱エイ・アイ・バレッジホールディング+4、㈱オリエンコーポレーション△24、伊藤忠丸紅鉄鋼㈱△6等
売上総利益	2,825	2,480	+	345	+	13.9%	
その他の収益（△費用）							
販売費及び一般管理費	△ 2,047	△ 1,843	△	205	+	11.1%	
貸倒引当金繰入額	△ 1	△ 6	+	4	△	76.4%	
金利収支	△ 76	△ 81	+	5	△	6.1%	
受取配当金（金融収支）	93	57	+	37	+	64.8%	
投資及び有価証券に係る損益	(18)	(△ 24)	(+)	42)	((-)	
固定資産に係る損益	△ 186	△ 62	△	248	-	-	
その他の損益	△ 343	△ 7	△	337	-	-	
その他の収益（△費用）計	△ 71	△ 4	△	66	-	-	
税引前利益	△ 2,631	△ 1,821	△	810	+	44.5%	
法人税等	194	659	△	465	△	70.6%	
税引後利益	△ 88	△ 244	+	156	△	63.9%	
少数株主持分損益	106	414	△	309	△	74.5%	
持分法による投資損益	△ 28	△ 31	+	4	△	11.5%	
当期純利益	157	155	+	2	+	1.3%	
(参考)							
売上高	33,238	31,673	+	1,565	+	4.9%	
(売上総利益率)	(8.5%)	(7.8%)	(+)	0.7%)			
営業利益	776	631	+	145	+	22.9%	
実態利益	952	769	+	184	+	23.9%	

実態利益＝売上総利益＋販売費及び一般管理費＋金融収支＋持分法による投資損益

オペレーティング セグメント情報	売上総利益(注1)			当期純利益			【当期純利益】主たる増減要因 (注1) 売上総利益については、「経営成績」の「主たる増減要因」参照	
	2008年度 第3四半期	2007年度 第3四半期	前年同期比	2008年度 第3四半期	2007年度 第3四半期	前年同期比		
繊維	274	283	△ 8	31	46	△ 15	営業利益の減少及び投資有価証券評価損の計上により減益	
機械	215	250	△ 35	△ 67	56	△ 123	営業利益の大幅減少に加え自動車関連の投資有価証券評価損の計上及び持分法投資損益の悪化により減益	
宇宙・情報・マルチメディア	330	309	+	20	16	△ 9	営業利益は横ばいなるも、投資有価証券損益の悪化により減益	
金属・エネルギー	729	301	+	428	238	△ 75	営業利益の増加あるも、エントラダガス田開発計画中止に伴う損失計上により減益	
生活資材・化学品	269	325	△ 57	50	49	+	1	営業利益の減少あるも、ブラジルハルブ関連会社の持分法投資損益の増加により横ばい
食料	859	837	+	22	67	△ 6	営業利益の増加あるも、前年同期の投資有価証券損益の反動等により減益	
金融・不動産・保険・物流	107	99	+	8	35	△ 63	営業利益の増加あるも、投資有価証券損益の悪化及び金融関連事業の持分法投資損益の減少により減益	
その他及び修正消去	42	75	△ 33	17	31	△ 14	主として投資有価証券評価損発生により減益	
合計	2,825	2,480	+	345	539	△ 303	営業利益については、「平成21年3月期 第3四半期決算」P16-17をご参照ください。	

当期純利益の 会社区分別内訳	2008年度 第3四半期	2007年度 第3四半期		前年同期比
		2007年度 第3四半期	前年同期比	
単体	△ 170	375	△	545
事業会社	(注2) 256	376	△	119
海外現地法人	60	62	△	3
連結修正	89	△ 274	+	364
当期純利益	236	539	△	303

当期純利益 内、海外事業損益(注3) (海外事業損益比率)	2008年度 第3四半期	2007年度 第3四半期	前年同期比
	当期純利益	236	539
内、海外事業損益(注3)	(注2) 183	249	△ 66
(海外事業損益比率)	(78%)	(46%)	

(注2) エントラダガス田関連損失に係る税効果を含めて表示しております。
(注3) 海外事業損益は、海外現地法人及び海外事業会社の損益合計に、親会社の海外支店及び実質海外の国内事業会社の損益を加えたものです。